



すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 井口 修

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

令和8年7月1日

見えない世界を思い描こう

副校長 半田 勝

杉七小の7月は、梅雨空の合間を縫ってプールから聞こえてくる水しぶきの音と、音楽室から漏れ伝わってくる杉七太鼓の勇壮な音が響く季節です。間近に迫った杉七盆おどりに並ぶ夏の風物詩～阿佐谷七夕まつり。4年生によるはりぼて制作は、今年もクラスごとにデザインした3体が徐々に姿を現してきました。お披露目はまだひと月ほど先ですが、パールセンターの宙に浮かぶ、子どもたちの想像が思い描かれた作品たちをどうぞお楽しみに。

さて、先日久しぶりに私の趣味の一つである落語を聴きに出かけ、これも夏の風物詩である怪談噺を楽しんできました。噺家の話芸に引き込まれ、思い浮かべる情景は人それぞれなのに、日本独特のおどろおどろしい情念の世界に皆で身を震わせる一体感は格別でした。映像が溢れ、情報に対してややもすると受け身になりがちな現代にあって、全てを見せず語らず、受け取る人間の想像力や感性を信じ、感動を委ねる古典芸能の奥深さを味わえた心豊かな時間でした。

12月の土曜授業では、本校伝統の「杉七寄席」が予定されています。一流の噺家さんの所作や話芸に触れ、子どもたちと「想像する楽しさ」を共有できる時間が今から楽しみです。

想像をかき立てる楽しさと言えば、「読書」を挙げる人も多いのではないのでしょうか。杉並区では毎年6月を「杉並区子ども読書月間」とし、今年も区内の図書館では様々なイベントが開催され、子どもたちの読書活動が推進されました。



杉七小でも15日(月)から26日(金)までを読書週間とし、読書活動を盛り上げました。

様々な分野をバランスよく読み、カードに書かれた分類番号を埋めていく「読書ビンゴ」を完成させようと、図書室は連日の大賑わい！

給食の時間「ブックランチ」では、図書委員が読み聞かせをした物語に出てきた「がんづき」が、その日の献立に登場。物語の世界を想像と味覚で味わうコラボレーションが実現しました。

また、図書委員は朝の「図書集会」でも絵本の読み聞かせを披露。全校が揃った体育館で、絵本「にああご」をスクリーンに大きく映し出し、心温まる優しい物語を聞かせてくれました。

普段は集団遊びを楽しむ縦割り活動も、この週間は6年生が下級生に読み聞かせを行う「縦割り読書」に。自分で選んだ本を緊張しながら読んで聞かせる姿はとても微笑ましく、マナーよく聴いていた下級生たちにも好評でした。

視覚情報が溢れる現代だからこそ、子どもたちの想像力と感性を育てていきたいものです。今回の「読書週間」が、本に親しみ、文章の行間から想像を巡らせる楽しさを味わう「読書習慣」のきっかけになることを願います。

七夕の夜にそんな願いを込め、最後に謎掛けを一つ。「落語」とかけて「読書」ととく。その心は？・・・どちらも「センス(扇子/感性)」が広がるでしょう。お後がよろしいようで。

7月の生活目標 「身なりを整え、清潔にしましょう」

日ごとに暑さが増し、汗をかくことが多い季節となりました。体調管理の面からも、また衛生面からも、日々の清潔な生活習慣が大切になります。学校では、手洗いやうがい、汗の処理、身だしなみを整えることなどについて指導してまいります。

ご家庭におかれましても、ハンカチやタオルの持参、衣服の着替えや清潔な身支度など、お子様が気持ちよく学校生活を送ることができるよう、お声かけやご配慮をお願いいたします。

生活指導主任 金井 順也